

# 施策 55

## 基本施策 1 快適で住みやすいまちづくりの推進

# 魅力ある景観の保全・形成

### めざす姿 (施策の目的)

市民の景観に対する理解が深まり、市民や事業者との協働によって自然・歴史・文化等に配慮した府中らしい優れた景観が保全・形成されています。

### 現状と課題

市は、良好な景観の形成を主導できる景観行政団体\*として、府中市景観条例や府中市景観計画を定め、府中らしい景観であるけやき並木や浅間山、多摩川などの緑豊かな景観の保全と、歴史と文化を感じる景観づくりを誘導してきました。

建築物やサイン等については、各種基準に基づく協議等により良好な景観が形成されるよう誘導しており、特に本市においては、景観法に基づく景観協定の締結を積極的に進めています。また、市が管理する公共サイン\*については、景観に配慮した統一的なデザインを用いて、市内全域において再整備を進める必要があります。

今後も、府中らしい景観づくりに向けた更なる取組が必要です。加えて、啓発活動や支援制度のPRなど、景観に関する市民の意識向上や学習活動を促進し、市民が地域の良さを知り、景観を育む機会を創出することも求められています。

### 施策の方向性

- 府中市景観計画に基づき、府中らしい良好な景観を維持・保全するとともに、新たに魅力ある景観を創出します。
- 市民や事業者の景観形成に対する意識啓発を行うとともに、府中市景観条例に基づき、景観行政団体として積極的に魅力ある景観づくりに取り組みます。
- 適切な案内誘導や景観の統一性の確保のため、市民や来訪者にとって分かりやすい公共サインの再整備を進めます。



ユニバーサルデザインに配慮した公共サイン



景観セミナー

## 指標

指標名	基準値	目標値 (R11)	指標の説明
良好なまちなみや景観が保全・形成されていると感じている市民の割合	73.8% (R7)	78%	市民意識調査により把握した、本市では良好なまちなみや景観が保全・形成されていると感じている市民の割合です。
景観協定締結面積(累計)	27.1ha (R6)	27.7ha	景観協定を締結した面積(累計)です。
公共サインのユニバーサルデザイン化が進んでいると感じている市民の割合	29.8% (R7)	60%	市民意識調査により把握した、本市は公共サインのユニバーサルデザイン化が進んでいると感じている市民の割合です。

## 主要な取組

取組名称	令和8年度から11年度までの取組内容
景観形成誘導事業	建築物や屋外広告物等について、良好な景観形成に努めるよう、協議・指導を行います。開発事業や地域のまちづくりに対する意向等に合わせて、景観法に基づく景観協定の締結を積極的に誘導します。
景観政策推進事業	景観セミナー等の景観啓発活動の実施により、景観に対する市民の意識を深める事業を展開します。
公共サイン整備事業	景観に配慮するとともに、多言語化や多機能化などユニバーサルデザインに配慮した利便性の高い公共サインの再整備を進めます。

## 協働により推進したい取組

- ▶ 魅力的な景観づくりに向けた意識啓発や、良好な景観の保全・形成に関すること。